



# REINANZAKA SCOUT CLUB



スカウトOB・OGの情報交換や交流の場 / 2000年1月31日発行

## 霊南坂スカウトクラブ会報

霊南坂BS・GSスカウト：霊南坂教会内 105 東京都港区赤坂1-14-3 電話：03-3583-0403

祝 ブラウニー45周年

### ブラウニー45回目のお誕生日会



ブラウニーリーダー

山崎 亜子

私達ブラウニーは先日11月27日に、45回目のお誕生日会を団全体でお祝いしました。かつてブラウニーと深く関わりを持ったOGの方や、父兄、そして教会の先生方も出席していただきました。

当日会場はブラウニー物語に出て来るような小さな森という設定で、参加者全員がそれぞれ用意した動物のお面を頭に付けアット

ホームな雰囲気の中で行われました。

この誕生日会を行うにあたり、それぞれの部門がこのブラウニーの誕生日会のために何かできることを考え、皆で誕生日を祝おうと考えていました。ジュニアスカウトは会場の飾り付けを担当し、折り紙で作ったリングや、「おめでとうブラウニー45周年」の看板

を作ってくれました。シニアスカウトは、当日食べるケーキを作ってくれました。それには、それぞれのブラウニーの精のイメージが粉砂糖で描かれていました。レンジアスカウトは、司会とハンドベルの演奏を披露してくれました。その中にはなんと「団歌」までありました。

せっかく大勢の方が誕生日会の為に集まってくれたので、ぜひ仲良くなって欲しいと思い5つのブラウニーの精に分けました。世界のブラウニーの制服の表から各組好きな制服を選んでもらい、用意した紙やビニール等を使ってその制服を作ってもらいました。発表の際には、その組の歌を歌ってもらいました。皆が協力して作った制服は、どれもとても素敵な物でした。その後、組毎にシニアの作った組のケーキを食べて、なごやかな雰囲気の中会は終了しました。

私自身、ブラウニーの時に25周年を迎えました。今回ブラウニーの文集の「あゆみ」を書くにあたり、その時の文集に目を通すと、とてもなつかしく、又すみれの部屋で集会をしていたあの頃を思い出します。いつかブラウニー達がリーダーになって今回の誕生日の事を思い出してくれればと思っています。

# SC総会開催のお知らせ

今回の霊南坂スカウトクラブ総会は、2000年2月20日(日)です。1994年に発足以来満6歳になります。当日のスケジュールは以下の通りです。

10:15～11:45	礼拝(スカウトサンデー)
12:00～13:00	愛餐会
13:15～	お話とフルートの演奏

今回のスカウトへのプレゼント企画はお話とフルートの演奏とフルート製作(ギネスブックにも掲載されている)の由水たけ子さんと古田土勝一さんをお願いの予定です。

多数の会員の方のご参加をお待ちします。お子さんやお孫さんとフルート演奏や面白い話(カブやブラウニーにも楽しめることがポイント)を一緒に楽しんだり、お子さん自慢、お孫さん自慢に花を咲かせてはいかがでしょうか。

## 静けさの中から

シカモア組合教会  
牧師 渡辺 誉一

昨年、霊南坂教会からアメリカのサンフランシスコ湾東岸に位置する町の日系人教会へ行かれた渡辺先生に寄稿していただきました。アメリカに行かれる前からお願いしていたのですが、この一年はなかなかお忙しかったようです。

外から見たアメリカと実際に生活してのアメリカというものの違いの驚きの中から思いを綴っていただきました。

20世紀も一年を残すのみとなりました。次世代へむけてスカウト運動がどのように展開されるべきかと日々模索されているかと存じます。日々のスカウト活動を大切に、現実をしっかりと見つめ、21世紀へと大きく踏み出していただきたく憶えてお祈りしております。

今回はそのお手伝いになればとの願いを込めて筆を(キーボードを!?)とらせて頂きました。

私共この度、住み慣れた日本を離れ外国の地で暮らすことになり、まず感じたことは言葉、生活習慣を含めた環境の違いでした。様々な要素が挙げられますが、私が遣わされたシカモア組合教会は、ア

メリカでも永い歴史を持った日系人共同体だということです。

1904年に設立された教会は日本人独立組合教会として産声をあげました。この開拓時代はまさに日本人による日本人の教会でした。しかし先の世界大戦において、排日運動が起こり、日本人は皆強制収容所へと送られ、まさに暗黒時代を迎えました。教会の創立期に誠心誠意献げつくしたメンバーは次々と強制収容所で召されていったとも伺っておりますし、戦後も全て取り上げられた日本人の歩みは苦難の連続であったとのこと。この様な歴史の流れは教会共同体をアメリカ社会への「同

化」へと促してゆきました。以来、アメリカ社会への宣教と日本人、日系人への宣教という課題を負いつつ教会内で英語部と日語部という二つの礼拝がもたれています。

積極面としては相互の理解と協力があげられますが、消極面としては日本人アイデンティティーの喪失があげられます。例えば、日本人の両親を持つ子供達が日本人ではないということです。日本語を含めた日本文化、生活習慣を失い、しかしながら自分はアメリカ人なのか日本人なのかという問いの中に彷徨っているということです。多くの悲劇を伺いました。精神的な病に陥る者、自ら命を絶ってしまう者、その苦しみははかり知れないものがあります。その様な次世代を担うべき日系人二世、三世の現状を目の当たりにし、共同体は危機感を抱かざるを得ないといった状況です。

また、日本の経済低迷の影響もあります。最近、目に見えて日本企業の市場撤退や縮小が顕著です。それに伴い、日本人社会が急速に狭められています。自分たちの身を寄せる場がなくなりつつあるという危機感は教会の内外を問わずに表面化しています。

更には、牧師の招聘に関わることがあげられます。この様な歴史の課題と流れを負った教会は、英語部においては自然と日系人の牧師を求め、日語部は日本からの牧師を求めます。しかし現在、前者は日系人の牧師がいないという問題に直面し、後者は私もそうなのですが、日本からの牧師は日系人の抱えている問題を理解しにくいということです。周辺の多くの教会ではアメリカ人の牧師を招聘し、日本語による礼拝が廃止されています。日系人、日本人の教会離れ、また教会を離れざるを得ない状況が進んでいるのが現状です。

私もこちらへ来て初めてこの様な問題を知り、自らが抱いていたグローバルな世界観とのギャップ

に驚きと戸惑いを覚えています。そんな共同体に身を寄せさせていただいて、改めてバビロン捕囚の旧約の民と新約聖書におけるパウロの働きの尊さに気づかされました。

旧約聖書によりますとバビロン捕囚の民は、国と故郷を失いました。大半の人々はバビロニア帝国への同化をはかり、また大半の人々は帰りたくても帰れない辛さの中で自らのアイデンティティを模索したと言われています。パウロの伝道時代には、デアスポラ(離散の民)が存在しています。これはユダヤの地を離れ、外国で暮らし、また外国で暮らさざるを得ない人々のことです。パウロの書簡には、そんな人々の抱く望郷の念と、それに伴う共同体の様々な問題がひととき強く感じられます。

少なくとも2、3年後に、日本へと帰る自分に「一体何が出来るのだろうか?」、まさに聖書の現実を負った人々に、私は「一体何を語れるのだろうか?」と日々自問しております。私の住んでいる牧師館は、自然に恵まれたとても静かな環境です。それは本当に感謝です。しかし、静けさの中に声なき声が挙げられていることを、今深く感じております。

「世界は狭くなった。近くなった」と言われて久しいです。けれども本当にそうなのでしょう? 担うべき課題は山積みしているのではないのでしょうか。私の感じていることは世界規模でみると片隅のことかも知れません。しかしきっと、日本でも同様なことが起こっているはず。片隅の声を心に留めていただき、今ある現状から世界を見つめ、多くの人々と出会っていただきたいと遠い地から祈らせていただきます。

霊南坂スカウトが21世紀に向けて、ますます神と人に仕える運動を展開されますように、何よりも集う子供達の将来を心から祈り願っております。

## 霊南坂スカウトクラブ 創立5周年記念企画 クラブ・ステッカー の制作・配付

霊南坂スカウトクラブが発足して早くも5周年を迎えました。5周年を記念してスカウトクラブのステッカー(シール)を制作して配付します。デザインも決まり、総会にて配付します。

自動車や文具その他に貼れるようなシール式のステッカーです。写真を参照ください。

霊南坂スカウトクラブは、他の

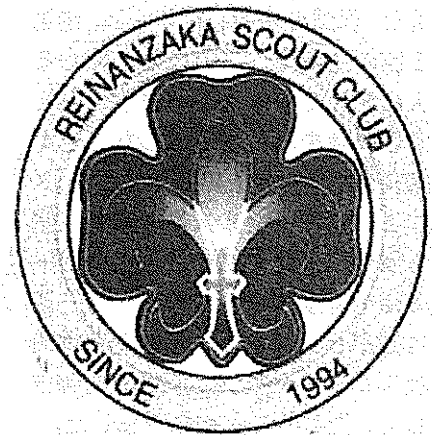
団とは異なっていて、BSとGSとのOB・OGが一緒になって構成しているユニークなスカウトクラブです。

そのデザインもBSとGSとが一緒に構成していることが判るようなものとなっています。

現在のところは2種類を制作し、無償で配付します。無償配布以上にステッカーをご希望の方には有償でお分けいたしますので、幹事にご連絡ください。

なお、下図の5周年記念の文字(The 5th Anniversary)が入ったものが記念配布ステッカーです。丸型は今後霊南坂スカウトクラブのステッカー(有償配布)となります。

The 5th  
Anniversary



祝

ブラウニー45周年

ブラウニーの皆さんお誕生日おめでとうございます!!

そして、前会報での私達へのメッセージ有り難うございました。ブラウニーさんとカブとが互いに

45周年を迎えられたことを思

うとき、多数の方々のお支えに依ってなされていることを改めて、感謝致したいと思います。

B-Pの言葉の中に「GSとBSは、お互いを批判しあってはならない。GSとBSとは一つの船の乗組員のように心を合わせて働かねばならない」との一文があります。どうぞ、これからも、仲良く活動して行きましょう。

カブ隊リーダー 一同

# ボーイスカウト研修会 を終えて

副団委員長  
杉原 正

「学ぶこと」が「生きること」へードイツの青少年教育から学ぶーをテーマにした研修会が約70名の参加者を得て去る1月22日(土)に霊南坂教会で開催されました。

今から、10年前に東京港第1団(旧東京第4隊)のリーダー、団委員、保護者を中心に年1回、港第1団の主催で、スカウトに関わる人に向けて研修会が始まり、第1回の講師をお引き受けしたことが継続して10年を経過しました。

この間にガールスカウト東京第4団、友好団、他のガールスカウトの団や神奈川や埼玉のリーダー達に拡がって行き、3年前から霊南坂スカウトクラブが共催して開催していただくことになりました。

日々のスカウト活動に追われ、ともするとスカウト教育の原点を忘れてしまうことの多いことを反省しながら、創始者ペーデン・パウエル卿の提唱するスカウティングに立ち返ることを主旨に、この研修会が始まりました。

私が日本連盟本部の役員(現在は、総コミッショナー)をさせていただいている関係で日本連盟が所属するアジア・太平洋地域の総会や世界スカウト会議に参加する機会が与えられ、また昨年から全国規模で青少年教育に関わっている青少年団体25で構成する(社)中央青少年団体連絡協議会(120万人)と、(社)青少年育成国民会議の副会長をお引き受けすることになり、青少年の健全な育成に向けての様々な情報や資料が集まる

ことになりましたので、そのときどきのテーマに基づいて毎年研修会のお手伝いをさせていただいてきました。

昨今の“いじめ”、学級崩壊、少年犯罪の凶悪化、薬物乱用などの青少年の問題が顕在化しており、この問題は単に仮定教育や学校教育の問題だけではなく、大人一人ひとりの社会規範の低下や拝金主義の姿勢が青少年に投影していることを認識することが大切であると考えられてきています。

今回は「学ぶこと」が「生きること」へのテーマで、①日独青少年指導者セミナーから学ぶ、②青少年を取り巻く問題から学ぶ、③完全学校5日制に向けて(2002年からの完全実施)、④世界のスカウト運動の動向、の4つの内容でお話をさせていただきました。

日独青少年指導者セミナーでは団長として3週間ドイツ各地を訪問してドイツにおける青少年教育の現況について学ぶ機会を与えられ、第二次大戦後の50年の歩みの中で青少年教育の施策にドイツとは大きな違いがあり、21世紀を担う青少年の育成に向けて日本が前向きに取り組まなければならない課題が多くあることを痛感しましたので、そのことについてお話をし、また「ゆとり」のなかで「生きる力を育む」ことのねらいとして学校が完全5日制に移行され、「総合的な学習」の時間が週3時間設けられることになり、その内容については、これからのスカウト教育との関わりが深くなることが予測されることなどについてお話をしました。

スカウトクラブの皆様にも21

世紀を担う若者の育成に向けての関心を持っていただければ、いまスカウトと共に活動している者として大変心強く、励みともなります。

「ドイツの青少年教育から学ぶ」「完全学校5日制に向けて」など、今後誌面が与えられるようであれば、続けてご紹介していきたいと思えます。

霊南坂スカウトクラブからも10名を越える方が参加していただきありがとうございました。

\*\*\* \*\*

## 杉原さん、 功労賞の 受章おめでとう ございます！

社会教育法施行50周年記念で社会教育功労者に文部大臣が表彰するもので杉原正副団長が受章されました。

これは地域における社会活動を推進するため、多年にわたり社会教育振興に功績のあった者および全国的な見地から多年にわたり社会教育関係の団体活動に精功し社会教育の振興に功労のあった者を対象にして表彰するものです。

全国レベルでボーイスカウトより1名杉原さんが表彰されました。



## THINKING DAY によせて

木村 恵子

私がメキシコにあるアワカバニアで開かれたジュリエット・ロー・セッションに参加したのは1963年の夏のことでした。信じられない事ですが、当時はまだ渡航自由化の前で、招待がない限り外国には出られない時代だったのです。この大会は出席者が世界10か国からたった27人で、しかも1カ月も同じところで一緒に暮らしたので、全員が姉妹のように仲良くなるのが出来ました。

そしてそこで培われた友情は36年経った今でもめんめんと続いているのです。というのは、この会が終わってからも私たちは毎年一回ニュースレターを発行して、お互いの消息を交換しあっていたので、たとえあえなくても皆が何を

しているのか、しっかり把握しあっていたからなのです。

25年経った1988年に子育ても一段落し、経済的にもすこしゆとりがでてきた私たちは、ミシガンにあるリーダーだったジュリーの家で初めてのリユニオンを開きました。まるで昨日まで一緒に居たような錯覚をおこすくらい、私たちはごく自然に会うことができました。

以来、5年ごとの30年目にはアワカバニアで、35年目はスイスの山小屋で私たちは友情の絆を確かめ合っています。

最近では家族を連れてくる人が多くなり、夫や母親、息子や娘もメンバーに加わり、ますます拡大しています。その拡大家族の交流も盛んです。私の息子がオーストラリアに行ったときには、ケイがホームステイをアレンジしてくれました。ケイはワシントンに何度か来ているので、息子のこともよく知っていたからです。

イタリアのパラオの娘はメキシコのロシオを訪ね、ロシオの息子に案内をしてもらったり、うれしいことに、私たちの友情は次世代にまで引き継がれているのです。

今日もフィンランドのリッタから「田舎に丸太小屋を作ったから是非遊びに来て」とメールが入っていました。2年前には夫婦でヘルシンキを訪ね、リッタの家に泊めてもらって一緒にサウナに入った仲なのです。

「来月仕事でメキシコに帰るけど、暇なら一緒にいかない？」とミシガンに住んでいるメキシコ人のペロニカから旅行の誘いもありました。

こんな具合に、『スカウト』という目に見えない糸で結ばれた私たちは、そのよりをますます太くしながら、世界をつないでいるのです。

そして、この仲間たちは私にとって何にもかえがたい宝物なのです。

## 霊南坂スカウトクラブ5周年を迎えて 幹事から一言

西郷 崇子

ボーイスカウト港一団（東京第四隊）、ガールスカウト東京第四団の50周年を迎えるに当たり、霊南坂スカウトクラブが発足していつの間にか5年が経ちました。

現役スカウト、リーダー、団委員方と力を合わせ、50周年は無事盛大に祝うことが出来、「全てのことに感謝」の一言に尽きる盛り上がりを見せたスカウトクラブでした。

その後の歩みについては、急速な変化と厳しい社会情勢も加わり、会員の拡充と積極的参加を望むことの難しさの中で、多少の入れ替わりが見られながらも発足当時の顔ぶれで幹事一同、精一杯の活動を続けてきましたが、改めて考え直さねばならない時にきているの

ではないかとの思いと、あともう一頑張り次の世代に引き継いで行かれるよう見守る責任とその願いと期待を感じています。

21世紀を迎えるに当たって昨今の青少年を取り巻く情勢の中で、如何にスカウティングの、殊にチャーチスカウトの育成と理解と支援が果たす役目の重要性を痛感させられますと共にそのことを伝えていくことこそ、また大きな進展を望むばかりではなく僅かづつでも確実に末永く歩み続けることがスカウトクラブの大切な目標と考えます。

どうぞ、どんどん、どんな小さなことでも御意見をお寄せ下さい。若返りが必要です。それと共に若き日の熱い思いを想いだして、そしてお力を貸して下さい。

渡辺 澄

あっという間に五年の月日が経ってしまいました。この間、50周年のパーティーや今田氏の授賞祝いの集まりなど大きな催しから、講演会などさまざまな企画が実現しました。これも幹事として働いてくださるOB・OGのご努力の賜物と感謝しております。

しかし、最近スカウトクラブの活動に以前のような活気が見られなくなったことが気掛かりです。なぜならばいつも参加者は同じ顔触れで、新しいメンバーは増えていません。年代的にも世代のギャップが広がってゆくように思えます。スカウトクラブがいろいろな年代の人達で構成されていることは素晴らしいことであると思います。

しかし、実際に幹事として積極的に先頭に立ってゆくのは、40才～50才代の方達であるべきではないでしょうか。頭が固くなり



柔軟性に欠けつつあるわが身を考えると、五周年を期に新しい世代に引き継がれてゆくことを願って止みません。

### 杉原 孝江

50周年の委員をお受けしてから、あっという間に3年も過ぎてしまい、月日の流れの早さに驚きを感じます。10周年の時スカウトであった私も今は息子がローパー隊でお手伝いさせていただいて、何か感無量です。まるで同窓会の用に幹事会に出させていただいていますが、これからは一日も早く、若い方々にバトンタッチをさせていただければ嬉しいのですが。どの様にしたら20代30代の方達が参加しやすいのか若い会員の方の御意見を聞かせて下さい。

### 日下部 英一

最近、嬉しかったことがあります。霊南坂で育ったスカウトがBSのOBに限って云えば、春日部、千葉、船橋、東京(世田谷・青山他)などの土地で、先輩から受け継いだスカウト精神を次世代に引き渡す活動を熱心にされていることに感謝し、そして原隊の霊南坂でも一生懸命活躍してくださっています。

それとは別に、私と同期のOBでスカウト活動とは直接的な関係はありませんが、私にとっては嬉しい活動を続けている人がいます。その人は六本木に住み、六本木が好きな人達を集め、大分汚れてきた(?)六本木をきれいにする会をつくり、ユニフォームまで作って日をきめて清掃活動をしているのです。これは、スカウト時代にキャンプ場の清潔さや自然を大切にすることを育てられことが、自分の住む町、愛する町をきれいで清潔な町にしようという行動になったの

ではないかと思っています。

そして、その会のメンバーを大切にしています。本人はこのような言われ方をすると照れ臭いかもかもしれませんが、心から応援したいと思っています。そのOBとは落合光治くんです(ばらしてゴメンネ!)飲みたい誘惑と呑べえ達に惑わされず、これからも頑張っ欲しいと思っています。

### 矢澤 宏子

ガールスカウト、ボーイスカウト発団50周年を迎えるにあたり、すでに巣立ったスカウト達が集まり、合同のスカウトクラブを創ろうという事になりました。

周年行事やスカウト達の年間プログラムに参加、そしてクラブのプログラムと小さな歩みの中で5年が過ぎました。当初、あれも、これも、と思っていた事の何分の1が出来たか解りませんが、これからも“亀さんの歩み”で歩いていくつもりです。

### 鈴木 範子

50周年、大勢の懐かしい方々とお会いすることが出来大盛会でした。それから3年たちました。幹事会では会員の皆様が参加して下さることを期待しながらイベントの案内をクラブ・ニュースでお知らせしています。ですが反応がないに等しいのは寂しい事です。

クラブを活性化するにはどうしたらいいのでしょうか。新陳代謝も必要なのかもしれませんが、新しい風を吹き込んでくださる方、何もわからない私と交代して下さい。お願いします。

### 塚田 洋子

アッと云う間の5年間でしたが、スカウトクラブが現役の方々の支えとなり、OB・OGにとっても懐かしいだけではなく、互いに協力・

支援・活力の源となるようでありたいとねがっています。

会員になられている方の多くが幹事となり、楽しく集い、ときには作業・奉仕と共に活動したいと思えます。

BPは“一度スカウトになったものは、一生スカウト”と云われています。

みなさま、どうぞ一緒に!

## 無料インターネット

や

## 無料メール・アドレス をGET!

普通、インターネットのプロバイダー利用は月額1000円弱から数千円までの接続料が取られます。無料でインターネットが利用できることを知っている人は知っていますし、知らない人は知らないという当たり前の話ですが、個人レベルでのインターネット利用ならば、この無料アクセスを上手に利用するのもひとつです。

無料で電子メール・アドレスも貰える。ただし、このサービスでは広告宣伝を入れることで収入を得ているので、インターネットを利用したときに広告や宣伝を自動的に見せられるということが条件になっています。

職場でインターネットを利用している人はヤフーなどで無料のプロバイダー・サービスを検索すると、幾つかが検索できますから、その中から自分の好みにあったものを選んで登録、あるいは登録するための手続き(登録用のCD-ROMの送付を申し込む)をすれば、無料で利用できます。ただし、接続するための電話料金は無料にはなりません。

午後11時以降安くなる料金契約を電話会社とすると、安い料金体系の電話会社との契約をすると

(8ページへ続く)

# 「遣わされて」

難波 信義

霊南坂教会に来て1年が過ぎようとしています。まだまだ、この教会について分からないことはありますが、何とかこの時まで過ごすことができている。しかしまだまだ分からないのが、このスカウトです。私自身の消極的な所も問題なのですが、何せこの教会は忙しすぎる！ その忙しさにかまけて、スカウトについての勉強不足に深く反省しています。

思えば4月、「霊南坂」の右も左も分からない時に、「スカウト担当教職」と呼ばれ、困惑してしまいました。「困惑」した、と言いますのも、私自身「スカウト」について余

りよく知らなかったからです。確かに、大学時代の親友は大阪豊中第15団でリーダーをしていました。様々なことを聴く機会もありましたが、私にとって未体験の世界でしたから、何をすれば良いやら、困ったのは事実です。しかし、この10カ月、様々な方々との出会いによって、実に多くの(正直言えば良い意味でも悪い意味でも)勉強をさせていただきました。

ところで、今年の霊南坂教会の「年頭祈祷会」のテーマは「イエスに派遣されて」です。私はこの「派遣」、また「遣わされて」という言葉が好きです。なぜなら、私たち

は、それぞれに与えられた場で、それぞれに立たされた場で、一人ひとりが生活をしていますが、この「与えられた場」「立たされた場」というのが、「イエスに派遣された場」であり、この「イエスに派遣された場である」との自覚によって、その為すべき奉仕なり、仕事なりの内容が全く変わってくる、と私自身は考えているからです。まだまだこれからも「霊南坂スカウト」にお世話になりますが、この気持ちを忘れることなく過ごしたいと考えています。また同時に「チャーチ・スカウト」である「霊南坂スカウト」が、「チャーチ・スカウト」である以上、この思いを持って全ての方々に関わっていただきたいと願います。



続報

## 霊南坂キッズの活躍

「スカウト」にも活躍が掲載

NHKが少年グループを対象に知力・体力・協調性を競う「宇宙へGO!」で霊南坂スカウトのカブ

とボーイの混成チームが全国から集まった36チームを破って優勝。ご褒美として米国のスペース

キャンプへ招待されたことが、ボーイスカウト日本連盟から出版されている「スカウト」にも掲載され、彼らの活躍が紹介された。

宇宙飛行士になれるかな

スカウト宇宙への夢 実現か?

スペースポート見学記

これがミッションだ!

スカウト5人組の活躍レポートを紹介するまで

宇宙

東京・港区1区

日本のスカウトの活躍がアメリカへ語り、宇宙開発の最先端の技術にふれただけでなく、なんと本編のスペースキャンプで宇宙飛行士の訓練まで受けてしまった。なぜ彼らがこんなにラッキーな体験ができたのかというと、それにはこんな背景があったのだ。

## Christmas Party & 忘年会 (報告)

昨年、12月4日(土)にGSおよびBSのリーダー、各団委員とを交えたクリスマスと忘年会とを兼ねた霊南坂スカウトクラブ主催のパーティーを開催。

今回はちょっと豪華に農林会館近くに新しくオープンしたイタリアン・レストランを借り切り、楽しい集いをもちました。

ワインと食事、世代を越えて談話が交わされた後、例年のごとく、

(6ページの続き)

少ない電話料金ですみます。

インターネットは利用できて、電子メールだけを無料で利用したいという場合は、ホット・メールという個人用で利用することが条件の無料メール・アドレスのサービスもあります。

これはOS(基本ソフト)で最大のメーカーのマイクロソフトが行っているもので、登録すればすぐにも利用ができます。ヤフーなどで無料メール・アドレスを検索すると幾つか出てきますので、これから自分の好みにあったものを選ぶようにしてください。

NTTの子会社でタウンページを担当しているところが、やはり

ビンゴ・ゲームをはじめ、クリスマス・ソングを唱和。閉めは当然ながら団歌。

一昨年末の今回は、急遽開催を決めたため、出席者数からすると若干狭い場所であったことから、今回は広めな場所を選定。一種のリーダー達の慰労も兼ねたもので和気藹々として雰囲気ですごした様子。

スカウトクラブの会員の皆さんも是非今年の年末にはご出席ください。

無料電子メール・アドレスのサービスを行っています。

このような無料電子メール・アドレスは定期的(半年ぐらい)にアクセスしないと登録抹消となってしまうとか、突然サービスを止めても文句はなしといった条件が付けられているので注意が必要です。

家族で別々に電子メール・アドレスを持っていると便利なこともあります。

このような無料の電子メール・アドレスをもったら、練習がわりに右記の霊南坂スカウトクラブ(河内宛)にご連絡ください。

ちょっとしたお知らせを皆さんにペーパーレスで配付でき、環境保護にも役立ちますので、よろしくお願ひします。

## 編集後記

今回の号よりページが増えていきます。できるだけ多くの人達の消息や活躍を誌面で紹介していくことや、多種多様なインフォメーションを載せる努力を続けるつもりです。徐々にですが、皆さんの役に立つような誌面、あるいは読んで楽しい誌面をと考えています。

スカウトクラブの会報ですから一般雑誌のような興味本位の内容を載せることはできませんが、可能な限り読んで面白い内容となるようにと考えています。

スカウトクラブは、単なるノスタルジックな集まりではなく、霊南坂スカウトとしてのそれぞれが再び繋がりを深め、趣味などで時間を共有したりできればと考えています。

日本経済はまだ不況を脱したとは言えませんが、誰もが大変な時代です。古い友達としてお互いに頑張ると声を掛け合うだけで、明日に向かって歩む気力が湧いてくる人もいるのではないのでしょうか。(河内 記)

## E-mail / 電子メール

スカウトクラブの会報は年に3回、あるいは多くて4回となっています。

3~4ヶ月の間に事柄によってですが、できるだけいろいろなことを皆さんに早くお知らせしたいと幹事会では希望しております。

そこで、現在E-mail Addressをお持ちの方は下記まで電子メールでアドレスをお知らせください。会員・未加入会員を問いませんのでお気軽にご連絡ください。

連絡先: E-mail Address  
kochi@unified.co.jp

## 意見・寄稿を募集中

広く皆さんのご意見や寄稿を募集しています。ビジネスに役立つ情報交換を希望される方からのものも掲載していきますので共有できる情報を左記の幹事宛に送付ください。

## 霊南坂スカウトクラブ連絡先

入会申込・問合せ等:

(郵便) 東京都港区南青山7-11-5 日下部 宛  
(ファックス) 03-3400-0399 (電話) 03-3400-0331

会費・ご寄付等:

(郵便) 東京都港区虎ノ門1-19-5 杉原 宛  
(ファックス) 03-3591-5210 (電話) 03-3501-3998  
振込講座番号: 霊南坂スカウトクラブ  
(郵便局経由) 00160-1-615237

通信・ご希望・ご意見等:

(郵便) 東京都渋谷区恵比寿西1-33-3-303 河内 宛  
(ファックス) 03-3464-8276 (電話) 090-4919-2941  
(E-mail) kochi@unified.co.jp